

デジタル革新で迫る物流改革

鋼材輸送の2024年問題に挑む

2024年4月から施行された働き方改革関連法により、トラック運転手の時間外労働が年間960時間に制限され、物流業界は抜本的な構造転換を迫られている。特に重量物物流、とりわけ鋼材物流業界では、この法改正の影響が非常に大きい。

鋼材輸送は、平ボディ車での運送が中心であり、金属特有の匂いや油分により他の貨物との共同配送が事実上困難である。クレーンを使用した荷積み・荷下ろし作業や長時間の待機も、ドライバーの稼働時間を大幅に増大させる要因だ。これまで三六協定の特別条項を定めることで月110時間まで認められていた残業が、月80時間(2～6か月の平均)に制限されたことで、業界は業務プロセスの根本的な見直しを迫られる事態となっている。

五十鈴株式会社は、グループ会社のワーレックス株式会社と連携し、鋼材物流における2024年問題の解決に向けた革新的な取り組みを展開。アナログな輸送管理か

らの脱却を目指し、独自開発した輸送管理システム「AIR」を軸に、業界全体の課題解決に挑戦する構えだ。

「AIR」は、配車計画のデジタル化とリアルタイムでのデータ収集・可視化を実現。従来、課題とされてきた長時間の待機時間を大幅に削減し、荷主や納入先との交渉に活用できる客観的なデータの提供も実現している。特に、これまで無駄になりがちだった復路の効率的な活用は、トラック運送の生産性向上に大きく寄与すると期待されている。



輸送管理システム「AIR」



代表取締役社長の鈴木勝氏は、「2024年問題は単なる課題ではなく、物流業界の未来を変える転換点である」と語り、システムを外部にも提供することで、業界全体の改革を牽引する意気込みを示した。五十鈴は、デジタルトランスフォーメーション(DX)の力を活用し、持続可能な物流社会の実現に向けた取り組みを推進していく方針だ。



五十鈴株式会社 

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビル
TEL:03-5219-5011 FAX:03-5219-5024



「AIR」についてはこちら